

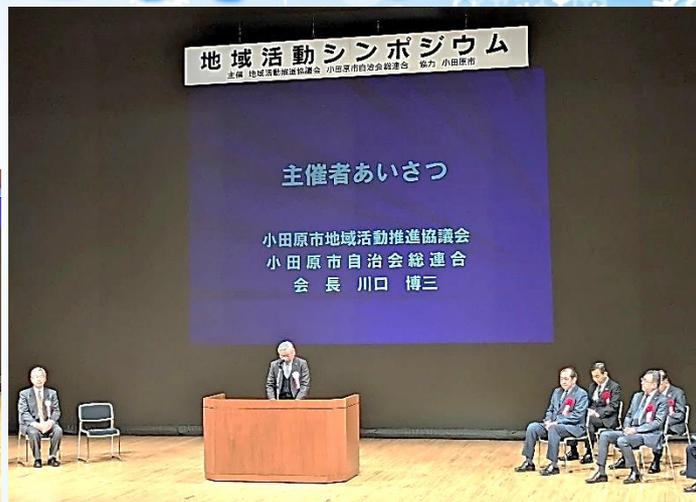
1/20(土) 小台囃子保存会が受賞

小田原三の丸ホールで開催された令和5年度地域活動シンポジウムで、小台囃子保存会が、「おだわら地域力市民力表彰」を受賞しました。

創設以来36年にわたり、伝統文化である祭囃子の伝承、青少年の健全な育成に取り組むとともに、高齢者施設の慰問や地域住民との交流会を実施するなど、地域振興に多大な貢献をされたというものです。



受賞者/井上三喜夫さん



地域活動シンポジウム
主催 地域活動推進協議会 小田原市議会総務委員会 協力 小田原市

主催者あいさつ

小田原市地域活動推進協議会
小田原市自治会総連合
会長 川口 博三



2/17(土) 防災リーダー意見交換会

城北タウンセンターいずみで、富水地区まちづくり委員会防災分科会が主催する「防災リーダー意見交換会」が行われました。能登半島地震のあとだけに、各自治会での防災リーダーの位置づけや、活動内容の現勢について情報交換をしました。富水では河川の氾濫、浸水、土砂災害が心配され、最近では、富士山噴火による溶岩流や火山灰に対する防災にも関心が注がれています。各自治会で自主防災組織を強固なものとし、防災訓練、防災倉庫の点検など有事の準備をしておくことが求められます。

3/3(日) 狩川クリーン作戦に150人

富水地区の青少年育成会と自治会連合会が主催した「狩川クリーン作戦」が、4年ぶりに実施されました。富水小、報徳小、泉中、養護学校の児童と生徒、地域の皆さんなど総勢約150人が参加し、山道橋から蓮正寺橋までの土手や川州に落ちているゴミを拾いました。身長より高い茅の中に分け入りペットボトル、空缶、ビニール、発泡スチロール、はたまた不法投棄の冷蔵庫、マットレス、自転車などまで拾い出しました。終了後には、豚汁を食べて互いの労をねぎらいました。



2024.1.26 仮設進入路撤去作業

～2/29(木) 狩川掘削工事が終わる

2022年12月20日から始まった狩川の飯田岡橋から山道橋までの河川の掘削作業が終わりました。掘削だけでなく、網袋の中に割栗石を充填して、水中に積み重ねる護岸工事も実施されました。池田排水路や鳥見行排水路が合流する所では、台風時にバックウォーターで浸水した住宅があっただけに住民は固唾をのんで見守っていました。県は今後、河川の状況を見ながら管理対応していくそうです。



袋型根固め設置作業